

Statistical Room



データでみる京都の森林・林業

日本は世界有数の森林国であり、森林面積は約2,500万haで国土の3分の2に当たります。森林は生き物を育み、水を蓄え浄化し、土砂災害を防ぎ、地球温暖化を緩和するとともに、木材を生産するなど、様々な形で私たちの暮らしに安全と安らぎを与えてくれます。

一方で、近年、大規模な自然災害が頻発し、西日本を中心に記録的な大雨を記録した平成30年9月4日の台風21号による倒木などの林業関係被害の総額は約2億2000万円にのぼるなど、大きな被害が発生しており、災害に強い森林づくりが課題となっています。

今回は京都の森林と森林を守るために欠かせない林業について見ていきましょう。

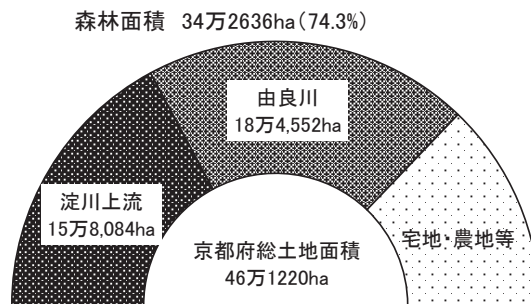
京都府の森林面積は34万2636haで、総土地面積に占める森林の割合は、74.3%と全国平均の66.5%を上回っています。京都府内の森林計画区は2つに分かれており、淀川上流森林計画区は10市7町1村で面積15万8084haで、由良川森林計画区は5市3町で面積は18万4552haです。(図1)

国勢調査における林業従事者とは、林木、苗木、種子の育成や、伐採、搬出や処分などの仕事に従事する者で、京都府の林業従事者の高齢化率(65歳以上)は、平成12年以降は低下し、平成27年では14%となっています。林業従事者数は年々減少傾向ですが、一方で、若年者率(35歳未満)は上昇傾向にあり、近年では、全国各地で就業前の若手林業技術者の教育・研修機関を新たに整備する動きが広がっています。(図2)

京都府では、林業の担い手を養成するため、平成24年4月に西日本初となる林業専門の大学校(京都府立林業大学校)を開校し、平成31年3月までの卒業生のうち、95名が即戦力として森林・林業・木材産業

関係へ就業し、うち55名が府内に就業されました。終わりに、森林所有者や林業従事者だけでなく、府民一人ひとりが森林に親しみ、森林の重要性を理解することで、貴重な財産である森林をみんなで守り育てていきましょう。

図1 京都府総土地面積の内訳



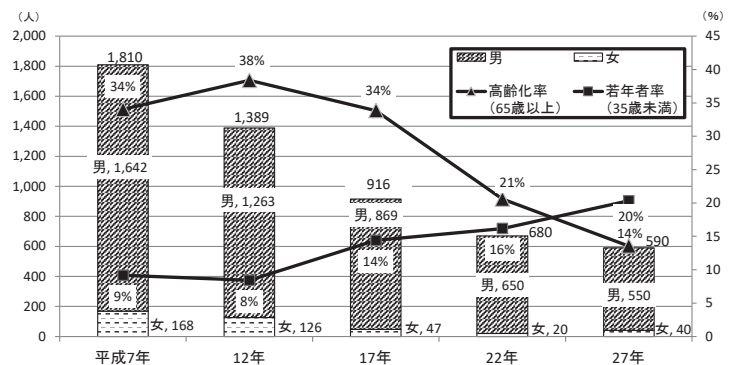
淀川上流森林計画区	
京都市	
向日市	
長岡京市	
大山崎町	
宇治市	
城陽市	
八幡市	
京田辺市	
木津川市	
久御山町	
井手町	
宇治田原町	
笠置町	
和束町	
精華町	
南山城村	
亀岡市	
南丹市	
由良川森林計画区	
京丹波町	
福知山市	
舞鶴市	
綾部市	
宮津市	
京丹後市	
伊根町	
与野野町	

注1: 総土地面積は平成30年10月1日現在、森林面積は平成31年4月1日現在。

注2: ()は森林率。

資料: 森の保全推進課 ※「京都府の森林・林業の現状(令和元年版)」より抜粋

図2 京都府 林業従事者の推移



注1: 高齢化率とは、65歳以上の従業者の割合。

注2: 若年者率とは、35歳未満の従業者の割合。

注3: 抽出集計されたデータのため、男女の合計と総数が一致しない場合がある。

資料: 総務省(国勢調査)